

# 射水市太閤山地区リノベーション計画策定委員会 会議録

協議事項	射水市太閤山地区リノベーション計画 素案について		
会場	射水市役所大島分庁舎大会議室	日時	令和2年11月16日(月) 午前10時～午前11時30分
出席者	炭谷 靖子、榊原 一紀(代理 大倉 裕貴)、坂又 國昭、山本 満夫、高島 秀五郎、 阿部 雅文(代理 山縣 英彦)、岡田 洋一(代理 柴田 尚彦)、京角 弘二、 松本 吉晴、谷井 寿好、橋場 祐子、肥田 仁美、池島 圭祐 <span style="float: right;">(計13名)</span>		
欠席者	なし		
傍聴者	建設工業新聞社、富山新聞社		
部長 司会	開会のあいさつ 委員の紹介 委員長及び副委員長の選出		
委員長	あいさつ		
委員長 市	<b>■議事進行</b> 「射水市太閤山地区リノベーション計画 素案について」市より説明願う。  素案説明		
委員長	<b>■質疑応答</b> ・素案について、意見及び質疑はあるか。		
委員	・太閤山地区は53年経ち、当時は若い人が集中したが、今は高齢者が多く、特に高齢者の一人暮らしが増えている。リノベーションについては、皆さんの意見を聞きながら、できることがあれば、取り組んでいきたい。		
委員	・地区の主な現状と課題に、意見交換会等の意見が網羅されていると思う。意見交換会では、一般の住宅と県営住宅の住民では、違う意見が出ているという声も聞かれた。今後、うまく融合していければと思う。		
委員	・地区の意見が反映した現状を整理されていると思う。意見交換会では世代間で違う分野について意見が出た。若い方の意見も反映して進めていければ良い。		
委員	・県営住宅の住民も地域の方と一緒に住みよいまちづくりをしてほしい。また、外国人が多く入居しており、将来像に“多様な世代が生き生きと暮らす街”とあるが、外国人のことも、この計画の中で盛り込んでほしい。		
委員	・今回の計画の肝は、地区の現状と課題について深く分析することだと思う。現状と課題の間に		

	<p>問題点の整理があってもよいのではないか。高齢化の現状から子育て世代の移住定住促進は飛びすぎではないか。交通環境についても、本当にバスの利便性が悪いのか、ダイヤ、道路など何に問題があるのかなど、施策が的外れにならないよう、慎重に分析した方がよい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学との接点をもっと作れないか。意見交換会でも空き家をシェアハウスにという提案があった。シェアハウスは共同住宅で、高岡市には富山大学の学生が利用するシェアハウスがあるが、県立大学の学生のシェアハウスは聞いたことがない。水回りは共同で個室は別々に使う。共同で会議や研究をする部屋を設ける方もいる。空き家に学生が住んで、地域行事に参加したり、卒業後に太閤山に残ったりすることも期待される。ぜひシェアハウスへの活用をお勧めしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・防犯に関して、液状化の件が抜けている。</li> <li>・国勢調査の数値は5年前なので、新しいデータがあった方がよい。また、外国人のデータもあるとよい。</li> <li>・空き家バンクが射水市にあるが、太閤山地区の物件は数軒しかない。空き家があるのにバンクが活用されていないのは、住民への周知が足りないのではないか。シェアハウスについても空き家バンクを利用して活用できるとよい。</li> <li>・若い世代や外国の方も、高齢者など地域の方とコミュニケーションをとれるとよい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・射水市商工会は小杉、大島、大門の3地区で活動しているが、太閤山地区の方の参加が少なく、商工会としても目を向けていなかった。今後は、太閤山の方にも参加を促し、市内の他の地区から太閤山地区へ買い物に行く機会は少ないと思うが、連携が必要である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太閤山地区では高齢者世帯が増加している。住み慣れた土地で住み続けたいという要望が多いので、地域の方が安心して暮らせるようにしていきたい。</li> <li>・親が太閤山地区にいて、同居も難しく、今後どうしていこうかという人も多いと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれてからずっと南太閤山で生活しているが、空き家が増えている気がする。県立大学の若手起業家と知り合う機会があるが、起業家に空き家を低価格で提供したり、オフィスとして活用するのも手かと思う。</li> <li>・子育て教育環境について“子どもを安全に遊ばせる公園の充実”とあるが、公園の数は多く、遊具が新しくなったところもあり、危ないと感じたことはない。ただ、公園でボール遊び禁止などのルールがあり、遊ばせづらくなったと感じる。</li> <li>・同居しづらい時代になっており、周りでも親と同居する人は減っている。空き家が増えていく中で、どう変えていけばよいのか、アイデアがあれば教えてほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化のためには起業家の方を育てていくことが大事。キーになるのは県立大学で、定住していただく仕組みが必要である。起業家が集まれる場所や住める場所があるとよい。</li> <li>・周辺には大規模な宅地造成が進んでおり、黒河などの販売が好調だが、太閤山地区には新たな入居は少ない。この違いは何なのか。高齢の方、若い方が本当はどう思っているのか、年代別で課題を考え、マッチングしていければ良い。いろんなものが老朽化していくので、リノベが必要だが、何を求めて住んでいただけるのか考える必要がある。キーになる施設や活動できる場を作</li> </ul>

<p>委員</p>	<p>って、そこを中心にしていくと良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスコは、客層の高齢化、施設の老朽化が進んでいるが、地区にとっては必要な施設であり、拡張していけると良い。温浴施設がなくなったが、また誰かやっていただけると良い。また、バスコをバスセンターにして、起点にできれば良い。</li> <li>・太閤山地区の一番のメリットは県立大学があることであり、どう活かすかが重要である。</li> </ul> <p>・太閤山地区の印象として、自治が強いと感じる。住民同士で頑張っていこうという気運が強いが、アパートの住民など、自治活動に参加したくない人もいて、多種多様ゆえにどう活かすか難しい。アパートの住民は、地域コミュニティとの接触が少ない。シェアハウスはいいと思う。以前京都にいたが、京都にもシェアハウスがあり、地域に溶け込んで暮らしていた。住宅を購入すると、賃貸アパートの中間の、地域と交わりながら賃貸で暮らすという暮らし方があっていいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市と高岡市が隣にある中で、射水市の太閤山地区をどうしていくかというのは考えていかなければならない。市外から人を引っ張ってくるにはどうしたらいいか。</li> <li>・アパートに住んでいた時も地域活動が多く驚いた。アパート暮らしの人にもコミュニティがいいなと思ってもらえる工夫や、つなぎの場づくりが必要だと思う。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公団住宅に学生が格安で住めるかわりに、町内会の活動に参加することを義務付けた契約にしているところがある。社会人になるまで町内会活動を知らない人が多く、そういった経験ができる場としてシェアハウスなどを活用できると良い。</li> <li>・まちなか研究室のような形で、シェアハウスの一つに先生の研究室があっても面白いかと思う。県立大学の先生はどんどん外へ出て活動している方が多く、いろんな試みが可能かと期待している。</li> <li>・学生が地域やそこで暮らす人々の生活を知らないといけない。大学も一体となって、学生が地域の実態を知れる活動ができると良い。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市では元々、様々な計画に基づき事業を進めている。太閤山地区に限定してリノベーションを始めるということであれば、他の地区でも同じような課題があり、それを補完するだけの計画であってはいけない。太閤山地区が一つの見本となるよう、資源を活かしてより良いまちづくりをしていこうということかと思うが、市として思い切った事業が必要だと思う。</li> </ul>
<p>市</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状課題の分析をさらに行い、県立大学との交流についても盛り込んでいきたい。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<p>閉会宣言</p>